
とても短いラブレター

茅野 遼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とても短いラブレター

【Zコード】

N4391H

【作者名】

茅野 遼

【あらすじ】

私を大切に思ってくれている人への、タイトル通りの短い手紙です。超短編を書いてみたくて投稿してみようと思いました。

(前書き)

私と貴方のお手紙小説？です。思ひ付きで投稿してしまいました。

貴方は、覚えていますか？ 私達が初めて出会った、あの日のことを……。

私は忘れません。

貴方と初めて目が合つた瞬間。 貴方の声を初めて聞いた、あの時の空気の柔らかさ……。

初めはこんな風になるなんて思いも寄らなかつた。 私には、まだ他に気になる人が居て、けれど、心の中の順番が一瞬で入れ替わつた時。

他人はきっと、それを一目惚れと言つのでしょうか。

私には、直^{すぐ}にはピンと来なかつた出会いだったのだけれど、あれからまだ、ほんの三ヶ月。

貴方からの好意を感じる事が出来て、初めて気付いた、鈍感な私でした。

始めて行つたデートコースも、今ではもう思い出となつています。

たつた、三ヶ月前なのに。 もう随分昔から、貴方の事を知つていたかの様な錯覚。

今、二人は結婚を意識して動き出しました。

これからどうなつて行くのか？ 一転二転する先の条件に、少しの戸惑いを覚えながら、それでも貴方を信じて生きようと、心に決めました。

「いいよ、貴方の思い通りで。私はついて行くと決めたのだから」

貴方の思いは、たつた一つ。「何時も一緒にいたいから、だから結婚しよう。」「ひょ？」

そう言ってくれました。

だから、信じます。私も、貴方と一緒に生きて行きたいから。

二人で一緒になら、幸せになる方程式は、きっと見付かります。

今はただ、何もしなくても流れていってしまう、「時」に、やらなければならぬ事が山積みだけれど、一人でなら、きっと乗り越えられます。

だから、これからも貴方の事を信じさせてください。

貴方も、私の事を信じていてください。

信じる力は、きっと凄いパワーを持っている筈だから。

今はただ、これから先の一人の未来に、乾杯をしましょう。

いね。
Dear 私のファインセ様。
これからも、ずっと私を好きで居てくださいね。

(後書き)

「—— 読、あつがとうございました。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4391h/>

とても短いラブレター

2010年10月15日16時32分発行